

山口新聞

平成24年8月24日(金)

NO.19

農地・水・環境

守ろう地域の手で

⑯



一 条 連 地 区 資 源 保 全 隊 (長門市)

美しい、華やかな、健康的な集落作り



上 「農地は自分たちで守る」という会員の皆さん下用水路の改修工事は会員自ら重機を使って

43

【メモ】代表＝槌田誠
▽会員＝農業者12戸、農事組合法人、自治会、婦人部▽設立＝2007年3月25日▽連絡先＝長門市三隅下270、槌田誠
☎0837・43・09

「自分の農地は、自分の農地ではなく、法人の農地であって、法人の農地は、全部が自分の経営農地である」を合言葉に、今後も地区一体となって農地の保全・整備をしていきたい。

(会計、坂本和義)
||金曜日掲載||

長門市の東に位置する一南北に細長い谷間の集落で、条連地区は、幕末の藩政改革ある。10秒弱の農地は、昭和50年代に農地整備事業を風や、近代日本洋画家の香月泰男を輩出した三隅地域。年月の経過とともに用水路・農道など施設の老朽化にあり、東西が山の迫った路・農道など施設の老朽化実施している。

が進行し、維持管理に支障が出始めた。このため、2007年度から農業生産資源の保全に向け、農事組合法人「二条連」を中心となって農地・水・環境保全向上対策を実施している。さらに本対策の営農活動への支援を活用し、特別栽培米などの栽培を推進。法人においては、11年度に県内初のJGAP認証(食の安全や環境保全の栽培などの農村環境向上活動を積極的に展開することで、構成員一人一人が「農地は自分たちで守る」という認識を持つようになつた。

また、「美しい、華やかな、健康的な集落作り」を目標に、花壇などへの紫陽花の植栽や農用地でのソバ

に取り組む農場に与えられる認証)を取得するなど、循環型農業にも積極的に取り組んでいる。